

第36回ISM — ケルン国際菓子専門見本市

2006年1月29日(日)～2月1日(水)
ドイツ連邦共和国 ケルン・メッセ会場

— ファイナル・レポート —

- ◆ 菓子業界の国際ビジネスプラットホーム
- ◆ ワールドカップなどのイベントが2006年ISMを勢いづける
- ◆ 高級商品への需要が高まる

世界最大級で菓子・スナック業界にとって最も重要なビジネスの場である第36回ISM(国際菓子専門見本市)は、72カ国から1634社の出展者(81%が外国企業)が集まり、大多数の出展者にとって非常に満足の結果となりました。今年も見本市にはドイツだけではなく海外から多数の決定権をもつ関係者が訪れました。150カ国から2005年同様約34,000人の来場者が訪れ、出展者は将来のビジネスの先行きについても明るい雰囲気にも包まれていました。また、ワールドカップやモーツァルト生誕250周年という特別なイベントが更にISMを盛り上げました。多数のサプライヤーが高級商品に再び注目しその傾向はバイヤーにも喜ばれていました。「ISMは世界をリードする菓子展示会として再びその役目を達成することができました。ISMは需要と供給の双方を兼ね備えた菓子・スナック業界にとってのドイツ国内だけではなく世界を視野に入れたグローバルな唯一の展示会です」と、ケルン・メッセ副社長ヴォルフガング・クランツは述べました。

今回のISMは来場者の約60%が海外からの業界関係者であり海外来場者数は前回同様高いレベルを誇りました。例年通りの多数のEU各国からの来場者に加えて、東欧からのバイヤーが増加しました。東アジアからの来場者は多少減少しましたが、北米、中南米、南米、北アフリカそして中東からの来場者数が増加しました。

出展者からは、「来場者のレベルが非常に高い」、「有益な商談ができ、最終的にはいくつかの商談がまとまった」など、商談において決定権をもつ関係者が多数来場していることに満足する声が上がっていました。

今回のISM2006はケルン・メッセ会場東ホールにて開催され、2、3、4、10、11号館を利用し総展示面積は約110,000㎡となりました。各会場は来場者が様々な展示場所を効果的に回り、目当ての場所をいち早く見つけられるよう改装されました。クランツ副社長は、今回のISMは新装ホールを利用しこれまでよりもより良い環境で開催することができたと述べました。

サッカーについてのテーマは砂糖菓子からチョコレート、スナック菓子に至る全分野の多数の商品に重要な影響を与えていました。菓子業界は2006年ワールドカップが景気の上昇につながると期待し、またトリノ冬季オ

リンピックもまた菓子・スナック商品の需要を高めるものとして期待を寄せています。更に、モーツアルト生誕250周年もまたたくさんのアイデアを菓子業界にもたらすものとなっています。

しかしながらワールドカップ終了後の新しいアイデアも要求されており、菓子業界の製造業者や輸入業者はこの点にも注目しています。高品質のダークチョコレートは特に注目されており、ビター・プラリーヌやカカオ80%以上のチョコレートからイースター用プレーン・チョコレートまで多くの分野にわたって紹介されました。

また、低糖、低脂肪菓子にも注目が集まり、歯に優しいガムや低カロリーフルーツガム、ピーナツ、チップス類まで幅広く集められました。更に国際的なトレンドとして注目を集めていたのが高級商品でした。これは消費者も注目しており、またドイツの専門業者がISMにおいて菓子クラブと称する品質保証を出すなど影響を与えました。

特に注目すべきイベントとしてサポート・プログラムである「菓子業界のマーケティング・プラットフォームとしてのワールドカップ2006」というパネル・ディスカッションが開催されました。この夏の主たるスポーツイベントへの期待とリスクについてマーケット・リサーチ、製造そして商業をそれぞれ代表する人々が議論を交わしていました。

菓子の製造に関するあらゆる商品・技術を提供する資材専門メッセ第1回「プロ・スイート」は2006年1月31日から良いスタートをきり、ISMと一部開催期間を重複し2月3日に成功のもと終了しました。

第37回ISMの会期は2007年1月28日から1月31日まで開催されます。

ISMに関するお問い合わせは：

ケルン・メッセ日本事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-13-1 虎ノ門 40MTビル 9F

TEL: 03-5405-2202 FAX: 03-5405-2203

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp